

建設通信新聞

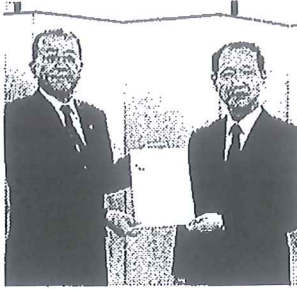
22.12.24

建災防がコスモス認定

りんかい日産九州

宮坂建設

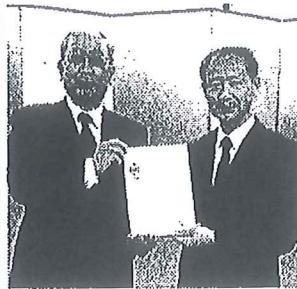
ナカノフドー東京



天野支店長 (左) と伊藤事務局長



迫本店長 (左)



高道伸常務取締役 (左)

建設業労働災害防止協会(銭高一善会長)は22日、りんかい日産建設九州支店(天野秀取締役執行役員支店長)、ナカノフドー建設東京本店(迫宗和取締役専務執行

役員本店長)、宮坂建設工業(本社・北海道帯広市、宮坂寿文社長)に「COHSSMS(コスモス、建設業労働安全衛生マネジメントシステム)認定証」を交付した。東

京都港区の建災防本部で交付式を開き、伊藤正人事務局長が天野支店長、迫本店長、宮坂建設工業の高道伸常務取締役に認定証を手渡した。

りんかい日産建設九州支店は、

2007年4月からコスモスを導入。過去5年間の死亡・重大災害はゼロで、休業4日以上の労働災害件数も1件のみと有効に機能している。同支店では、海上土木工

事が完工高の半分を占め、その特有な危険に対してリスクアセスメントを実施しており、工事受注から着工に至る期間の中で「準備会議」と「施工会議」を開き、リスクの高い作業を抽出している。

ナカノフドー建設東京本店は03年4月から建設業労働安全衛生マネジメントシステム「ナカノフドーI SMS」を導入。同システムの安全衛生目標と安全衛生計画は、経営計画の一環として、他の業務分野の目標や計画と一体的に策定、実施している。社内で「全社安全衛生計画ガイドライン」を作成し、関係請負人に対しては「協力会社安全衛生管理基準」を配布して安全衛生水準を向上させている。

一方、宮坂建設工業は06年11月にコスモスの運用を開始。過去5年間の死亡・重大災害がゼロで、休業4日以上の労働災害も2件と効果を発揮している。既存の規定などを活用し、マニュアルを分かりやすく作成したほか、「予防安全」を合い言葉にリスクアセスメントに基づく安全管理も展開している。

同日は、コスモス評価証取得済みの熊谷組北海道支店(大塚拓美支店長)、旭建設(本社・宮崎県日向市、黒木繁人社長)、五洋建設西国支店(荒木正美執行役員支店長)にもコスモス認定証を交付。08年4月にスタートしたコスモス認定証の交付事業場数は、32社50事業場となった。